

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	原信 女池上山店 中央区 女池上山2丁目192-1 外17筆 準住居地域、第1種住 物販店, 2015年9月 竣工 7,395.02 m ² 3,208.68 m ² 2,933.37 m ² 地上1F S造 竣工段階評価 2015年4月30日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50.3}{29.0} = 1.7$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価アイコン	項目名	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.5		バリアフリー	Q2.1.1.3	4.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

長寿命化の取組み
バリアフリー法誘導化基準を満足する施設として、たくさんの方からご利用頂けるよう、また親しみのある施設づくりに配慮しております。

資源循環の取組み
節水により水資源の保護、リサイクル材の利用等で環境へ配慮しております。

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	原信 女池上山店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	S造
用途地域	準住居地域、第1種住居地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2015年9月 竣工	評価の実施日	2015年4月30日
敷地面積	7,395 m ²	作成者	高桑 渉
建築面積	3,209 m ²	確認日	2015年4月30日
延床面積	2,933 m ²	確認者	高桑 渉

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	57%
③上記+②以外の	57%
④上記+	57%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 近隣住民の皆様、お客様に喜ばれる店舗づくりを目標とした。建築物移動等円滑化基準に対応し、安全にも配慮した親しみのある施設となるよう計画した。	その他 建物内は全面禁煙とし、またレストスペースとしてカフェを設け、お客様にとって安全・安心・快適に施設を利用できるように配慮しました。	
Q1 室内環境 シックハウスに配慮した計画とした。また、設備機器等の更新性に配慮しました。	Q2 サービス性能 防汚性、メンテナンス性に優れた材料の選定。業務に必要な機器の修繕ルートの確保しました。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界は緑化を心がけ、中高木及び低木をバランスよく配置しました。
LR1 エネルギー 高効率照明器具、高効率空調機の採用を行いました。照度計画、空調計画によりエネルギーを削減した建築計画を目指します。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資源の利用。構造躯体と仕上げ材は容易に分離できる仕様としました。	LR3 敷地外環境 騒音、光害の低減に努めます。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される